



平成 22 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
 (コード番号：7707 大証ヘラクレス)
 問合せ先 常務取締役 業務本部長 秋本 淳
 (TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 11 日公表した業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正 (平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,500	330	300	250	5,835 円 67 銭
今回修正予想 (B)	2,724	429	409	363	8,473 円 39 銭
増減額 (B - A)	224	99	109	113	—
増減率 (%)	9.0%	30.0%	36.3%	45.2%	—
(参考) 前期第 2 四半期実績 平成 21 年 6 月期第 2 四半期	1,875	151	83	23	542 円 46 銭

(2) 通期連結業績予想の修正 (平成 21 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,600	470	430	350	8,169 円 93 銭
今回修正予想 (B)	5,300	620	590	500	11,671 円 34 銭
増減額 (B - A)	700	150	160	150	—
増減率 (%)	15.2%	31.9%	37.2%	42.9%	—
(参考) 前期実績 平成 21 年 6 月期	3,802	258	217	73	1,718 円 01 銭

2. 個別業績予想

(1) 第2四半期個別累計期間業績予想の修正（平成21年7月1日～平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	2,030	180	250	220	5,135円39銭
今回修正予想（B）	2,215	294	365	347	8,099円91銭
増減額（B－A）	185	114	115	127	－
増減率（％）	9.1%	63.3%	46.0%	57.7%	－
（参考）前期第2四半期実績 平成21年6月期第2四半期	1,572	133	34	△11	△273円05銭

(2) 通期個別業績予想の修正（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	3,700	250	310	270	6,302円52銭
今回修正予想（B）	4,350	440	500	460	10,737円63銭
増減額（B－A）	650	190	190	190	－
増減率（％）	17.6%	76.0%	61.3%	70.4%	－
（参考）前期実績 平成21年6月期	3,103	183	104	55	1,299円99銭

3. 連結業績予想の修正理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想の修正理由

近時、世界的な新型インフルエンザの流行により、遺伝子検査の需要が高まっております。これに伴い、当社のDNA自動抽出装置もOEM先を通じて好調に販売拡大しており、当社の予想を上回る推移となっております。

また、国内の警察における科学捜査の進展に伴い、今般、各都道府県に遺伝子検査のシステムを完備する計画があり、OEM先を通じてこの需要に対応する運びとなりました。

以上の理由により、平成21年11月11日において業績予想の上方修正をいたしました。その後も更に予想を上回る受注状況が続き、再度の業績予想の修正を実施することとなりました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

第2四半期連結累計期間の業績予想を上方修正することに加え、第3四半期連結会計期間においても順調な受注状況が確認できていることから、通期の業績予想も修正するものといたしました。

遺伝子検査を利用する領域が、従来の研究分野から実際の臨床診断や警察の科学捜査など、実需を伴った様々な現場へと拡大していることは、当社にとってたいへん喜ばしいことであり、今後、中長期的にマーケットは拡大していくものと考えております。

しかしながら、今回のDNA自動抽出装置の急速な販売拡大の中には、新型インフルエンザの流行や警察関係への一括納品など、一過性の取引と思われるものも含まれていますので、その点には注意が必要と考えております。

なお、下期の業績予想の前提とした為替レートは、近時の為替動向を勘案し、1ドル＝90円、1ユーロ＝130円にて算出しております。

4. 個別業績予想の修正理由

連結業績予想の修正理由と同様であります。

5. 特別損失計上のお知らせ

第2四半期連結累計期間において、投資有価証券評価損 29 百万円を計上いたします。

当社は、平成 18 年 7 月にベンチャーファンドを設立し、当社と事業連携可能なバイオベンチャーへの投資育成を行っています。しかしながら、バイオ関連技術によって収益を得るまでには長い時間を要する上、昨年来の金融引き締めによってベンチャー企業への資金供給が著しく減少するなど、投資先企業の事業リスクが高まっています。こうした状況に鑑み、子会社であるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合において、一部の投資先企業の株式に関し、保守的に評価損を計上するものとなりました。ただし、当社と投資先企業との事業連携に変わりはなく、積極的な姿勢で臨んでいく方針であります。

以 上

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。